

災害から学ぶ リーダーシップ講座

入場無料
定員

100名

要申込・先着順

水災害における行政と地域の役割

—今そこにある危機と対策—

近年、気候変動の影響に伴い水害などが激甚化・頻発化しており、その対応・対策として自治体や地域住民など流域の多様な主体が協働する必要性を議論する。

趣旨説明

岐阜協立大学 客員教授
森 誠 一 (理学博士)



プロフィール

専門：進化生態学、環境保全学。河川・道路・リニアの国交省や希少生物の環境省など行政会議委員。福井県・三重県・桑名市・岩手県大槌町の文化財審議会委員など。著書に「適応放散の生態学」(翻訳、京都大学学術出版会)、「河川ダイナミクスの生態学」(編者、朝倉書店)、「トゲウオ、出会いのエソロジー」(地人書館)など。

基調講演

【テーマ】

大垣の底力！水の都が挑む"もしも"への備え



大垣市副市長
立松 明憲 氏

プロフィール

平成4年建設省入局後、静岡河川事務所長、中部地方整備局総括防災調整官など要職を歴任。
河川管理と防災対策の専門家として30年以上の実績を持つ。
国土交通省で河川行政に長年携わり、防災・水害対策の第一線で活躍。
豊富な現場経験と専門知識を活かし、令和6年4月より大垣市副市長に就任。

特別講演

【テーマ】

徳山ダムの多目的性と治水効果について



独立行政法人水資源機構
揖斐川・長良川総合管理所
徳山ダム管理所長
夏目 浩和 氏

プロフィール

平成7年4月に水資源開発公団(現：独立行政法人水資源機構)に入社。これまで、ダム建設、ダム管理、環境業務、調整業務、利水者対応などの業務に従事。木津川ダム総合管理所副所長、関西・吉野川支社淀川本部利水者サービス課長、本社経営企画本部技術管理室技術調査課長、下久保ダム管理所長など経て、令和7年4月より現職。

パネルディスカッション

申込方法

以下のいずれかの方法で申込ください

◎岐阜協立大学HPの申込フォーム

<https://www.gku.ac.jp/form/0207.html>

二次元コードはこちら→



◎E-mail:soumu2@gku.ac.jp

(件名は「2/7シンポジウム申込み」、
本文に氏名、連絡先をご記入ください)

問合せ先

岐阜協立大学 総務企画課

TEL 0584-77-3505 FAX 0584-77-3506

日時

2026年2月7日(土)

13:30～16:00

会場

岐阜協立大学北方キャンパス

4号館4101教室 (予定)

〒503-8550 岐阜県大垣市北方町5-50

※アクセス方法は岐阜協立大学HPをご確認ください

【URL】<https://www.gku.ac.jp/index.html>



ともに立ち、向かう

岐阜協立大学

GIFU KYORITSU UNIVERSITY